

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和07年06月18日(水)

事務事業		特産物PR事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36311	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	2	農畜産物の販売流通体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		市内農畜産物の消費拡大及び産地としての認知度向上を図るため、市内及び市外消費者に対して、各種プロモーション事業を実施し市内農畜産物のPRを行うものである。								
目的 ※何のために		市内農畜産物のPRによる消費拡大及び産地としての認知度向上を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内および市外の消費者								
手段 ※どのように		各種プロモーション事業を実施し市内農畜産物のPRを行う。								
成果 ※何を求めるか		市内農畜産物がより多くの消費者に認知され、消費の拡大が図られる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	特産物PR事業	3,775,053
本事業の 主な業務		・特産品の情報発信(HP、FBなど)				・				
		・販売促進に係るPR業務(出張博覧会、全国ねぎサミットなど)				・				
		・ふっカーゴの管理、貸出				・				
		・メディア対応				・				
		・生産者、消費者アンケートの実施				・				
		・				・				

## 2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加		
事業費	予算(現額)	4,813,000	15,398,000	5,450,000	5,968,000	
	決算額	4,150,221	13,168,618	3,775,053	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		他特定財源	4,123,657	11,479,026	3,355,424	4,661,000
		一般財源	26,564	1,689,592	419,629	1,307,000
人件費	従事職員数(人)	1.32	1.57	1.17	1.25	
	人件費相当試算※	10,387,816	12,575,960	9,620,022	10,659,775	
総事業費試算		14,538,037	25,744,578	13,395,075	16,627,775	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	農畜産物PR事業数	目標値	回							
		実績値		19.00	19.00	19.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度ごとに事業数が変動するため、目標値を設定しない / PR事業体系別集計							
	実績値の算出式									
活動指標 2	農畜産物メディア取り上げ数	目標値	回							
		実績値		27.00	70.00	60.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		コントロールできないため目標値を設定しない / PR事業体系別集計							
	実績値の算出式									
成果指標 1	農畜産物PR事業の来場者数	目標値	千人							
		実績値		109.00	120.00	158.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		コントロールできないため目標値を設定しない / 参加事業PR実績来場者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	市内農畜産物の購入を心掛けている人の割合	目標値	%							
		実績値		63.60	62.90	61.50				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		コントロールできないため目標値を設定しない / 深谷市民まちづくりアンケート							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

#### (1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	産業祭、農業王国ふかやマルシェといった市内でのPRイベントを実施するとともに、浦和競馬地域連携、深谷出張博覧会、全国ねぎサミットといったイベントに参加し、深谷産農畜産物のPRを実施することで認知度向上を図ることができた。また、おにぎりサミットローカルに参加することで、新たに全国の自治体を図りながら、これまで以上に全国に向けて深谷産農畜産物をPRすることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	引き続き物価が高騰する中で、消費者はより安価なものを求めている傾向にある。このような状況の中で、各種イベントを実施、または参加することで、直接消費者に深谷産農畜産物の魅力を伝え、認知度を上げることにつながった。特に産業祭や農業王国ふかやマルシェといった市内のイベントでは、生産者が自ら生産した農畜産物の魅力を直接消費者に伝えることで、市内消費者は改めて地元農畜産物の魅力を再認識することができた。
			評価者 特産係長 飯野 貴茂

#### (2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	イベントを実施することは、深谷産農畜産物の認知度向上につながることでできていると考えられるが、物価高騰の継続等から農畜産物を取り巻く状況、消費傾向等常に変化していることを踏まえつつ、SNSの更なる活用等状況に応じたPRを実施していく必要がある。
			評価者 特産係長 飯野 貴茂